



2022年 (令和4年) 第37号

# 農業委員会だより

発行所:牛久市農業委員会 住所:牛久市中央3-15-1 電話:029-873-2111(代) 再生紙を使用しています



甘くて美味しいりんごを収穫中 (島田町・長沼りんご園)

## \*\*\*\*\* 主な内容 \*\*\*\*\*

会長挨拶.....	2
農家訪問	
女性農業委員だより.....	3
耕作放棄地調査	
農業者年金について	
お知らせ.....	4



美しく咲き誇るダリア (牛久町)

## 新年のご挨拶



牛久市農業委員会  
会長 山越 康義

新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、ご健勝にて新年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。

日ごろより、牛久市農業委員会の業務運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年も、新型コロナウイルス感染症の蔓延により不自由な日々が続きました。ワクチン接種の本格化によりコロナが早期収束し、以前の日々に戻ることを願ってやみません。さて、農業を取り巻く環境は依然として厳しく、異常気象が営農にもたらす影響はもとより、食料自給率の更なる低下、担い手の減少や高齢化による労働力不足などが深刻かつ喫緊な課題となっております。牛久市農業委員会は、農業委員・農地利用最適化推進委員と地域の皆さまとの協働により、農地集積・集約化に一層取り組んでまいります。また、遊休農地の発生防止および解消、新規就農者や法人等の農業参入への支援にも引き続き尽力していく次第です。

今後とも皆さまのご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

## 農家訪問

県南地区では珍しくりんご園を営む長沼雅之さん。直売所入口にたわわに実ったりんごがお出迎え。実は雅之さん、平成二十九年発行の農業委員会だよりにもご登場いただいています。あれから五年：父の秀樹さんから正式に経営移譲し、まだまだ経営は安定していかないとのことですが、取材日も写真撮影日も、平日にもかかわらずお客さんがひっきりなしに訪れます。二町六反歩の農地に千二百五十本、四十種類ものりんごを栽培、これを手作業で収穫し、一つ一つ磨き、ほぼ直売のみで販売しています。牛久市内の小中学生は、給食に供される雅之さんのりんごを毎年心待ちにし、幼稚園や保育園児は遠足でりんご狩りを楽しみます。子どもたちの笑顔が雅之さんの活力の源です。

収穫の秋が一番多忙を極めるのかと思いきや、一年で一番忙しいのは冬場の剪定と花が咲いた後の摘果、と雅之さん。繁忙時は、両親と雅之さん、パート従業員五、六人総出で作業します。苦勞していることは消毒。秀樹さんの代に、茨城の土地に合うように接ぎ木をして栽培してきた木々は薬剤耐性がついてしまい、同じ消毒剤が使えません。ある年は薬剤が効いても、次の年は同じ薬剤が効かないこともあるそう。消毒剤について学びたい雅之さんは、果樹対象の農薬勉強会の開催を希望しています（関係者の方々、どうぞよろしくお願ひいたします）。

もともとは寒冷地で栽培されるりんごです。温暖なこの牛久でりんごが収穫できること自体が本当にすごいことです。「品質を良くする。味を良くする。良いものを作っていればおのずとお客さ

んが集まってきてくれる。ただ、良い品質のりんごをこの地で栽培することは本当に難しい。地球温暖化に伴い、今後品質の向上は見込めない。自分が腕を上げるしかない。」今後は、収穫量の五十パーセントを占めるロスを、キズ有として販売したりジュースに加工したりする以外に、カフェを併設してアップルパイを販売したい、と夢も膨らみます。尊敬する父、秀樹さんの背中を追いかけてながら、雅之さんはたくましい体と優しい笑顔で今日もりんご園を守ります。



# 女性農業委員だより

令和三年十一月五日、「関東ブロック女性農業委員等研修会」がつくば市「ホテルグランド東雲」にて開催されました。この研修会は例年、関東一都七県の女性農業委員・農地利用最適化推進委員が一堂に会し盛大に開催されています。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和二年度は延期、令和三年度は開催県である茨城県内の委員はつくばにて、県外の委員はオンラインでの参加、という形となりました。

最初に、ひたちなか市農業委員の根本悦子氏による「新型コロナウイルス感染症対策食事法」の講演が行われました。毎日朝ごはんを食べたり、大根やかぶの葉を食べたり、発酵食品を食べたり、梅干を食べながら日本茶を飲んだり…、といった自分の身近な食生活が、ウイルスに負けない体づくりに繋がっていたことを知り安心しました。

次に、千葉県の山武市による女性農業委員の登用について、埼玉県東松山市による農地中間管理事業を活用した農地集積の取組みについての事例発表が、録画ではありましたが会場で放映されました。最後に、来年度の開催県である栃木県の挨拶をもって閉会となりました。

委員同士の交流の場がほとんどないこのご時世、貴重な研修会に参加させていただいたことに感謝申し上げます。



# 耕作放棄地調査を行っています

毎年、遊休農地の発生・解消状況を把握するために、農業委員・農地利用最適化推進委員・農業委員会事務局職員が農地の利用状況調査を行っています。タブレットを用いて調査を行うことにより、調査結果を速やかに地図に反映させることができ、調査の省力化につながっています。なお、調査時に農地に立ち入ることがございますので、ご協力よろしくお願いいたします。

農地を耕作しないと、雑草や雑木が繁茂し、病虫害の発生、ゴミの不法投棄や火災の発生など、周辺農地や近隣の住民の方々に多大な迷惑を及ぼすこととなります。また、一度農地が荒れてしまうと、再び農地に復元するには多大な労力と時間が必要となります。農地の所有者の皆さまには、耕起や草刈り、作付けを行い、適正な農地の維持管理をお願いいたします。事情により農地の管理が難しい場合は、各地区の農地利用最適化推進委員へご相談ください。



## 農業者年金で老後の生活を安心サポート

積立方式の確定拠出型年金で、少子高齢時代に強い年金です。終身年金なので生涯受給できます。支払った保険料全額が社会保険料控除の対象になり、所得税・住民税等の節税にもなります。

3つの要件を満たせばどなたでも加入できます

- ①60歳未満
- ②国民年金第1号被保険者（保険料免除者は除く）
- ③年間60日以上農業に従事



※加入の申込、お問い合わせは、最寄りのJAまたは農業委員会へ



# お知らせ

## 賃貸料情報

田10a当たり	10,000～20,000円
畑10a当たり	3,000～8,000円

## 農作業臨時雇用標準賃金

田植／稲刈／水田除草／畑除草／その他作業	7,000円（実働8時間）
----------------------	---------------

## 農作業標準料金

項目 作業名	単位	料金	備考
深耕	10a	10,000円	
ブラウ耕	10a	6,000円	
デスク耕	10a	3,500円	パワーデスク
普通ロータリー	10a	5,000円	畑
耕起	10a	5,000円	田
代かき	10a	6,000円	
畦塗り	1m当たり	35円	
育苗	1箱	700円	硬化苗
田植え	10a	6,500円	条件により料金割増
育苗～田植え	10a	18,000～20,000円	
刈取り～脱穀	10a	16,000～20,000円	倒伏等の条件により上限とする
刈取り～調整	10a	30,000～35,000円	倒伏等の条件により上限とする（袋詰めまで）
乾燥～調整	玄米60Kg当たり	1,800円	（袋詰めまで）
籾すり	玄米60Kg当たり	1,000円	（袋詰めまで）
麦刈り～調整	10a	22,000円	倒伏等の条件により上限とする（袋詰めまで）
甘藷マルチ張り	10a	10,000円	薬剤散布含む
甘藷マルチ張り	10a	5,000円	薬剤散布なし
落花生マルチ張り	10a	4,000円	
肥料と土壌改良剤の散布	10a	2,500円	資材の運搬は含まない、片方だけの散布は1,500円

## 全国農業新聞

農家の思いを伝え、農業・農村の未来をともに考える「全国農業新聞」。地域農業者の代表機関である農業委員会のネットワークが発行する週刊の農業総合専門紙です。農業者の視点でお届けしています。

購読の申込は農業委員へお気軽にご連絡ください。

発行日／毎週金曜日

購読料／月700円（送料・税込）



## 農地を「転用」するときは農地法の「許可」が必要です

農地を農地以外にすることを「農地転用」といいます。農地を転用する場合には、原則として農地法の転用許可が必要です。一時的な工事や資材置場にする場合も転用となります。

農地に関する相談、許可申請の手続き、違反転用の通報・相談は、農業委員会事務局へ。

## 未来につなぐ『相続登記』

農地を相続したときは、相続登記完了後に農業委員会へその旨を届出することが義務付けられています。お手続きは簡単です。

登記の手続きは法務局へ、農地の相続の届出は農業委員会事務局へ。

## 編集後記

待ちに待った東京オリンピック・パラリンピック。コロナ禍の中、また、酷暑の中で頑張るアスリートたちの姿に心打たれました。

他方では、一昨年、昨年と新型コロナウイルスの感染が急拡大し、マスクをつけての夏の農作業は、暑くてつらい日が続いたと思います。早い収束を願うばかりです。



編集にご協力を頂いた皆さまにお礼申し上げます。

編集委員

中山 みつい  
塚崎 光子